

■養成所ニュースプラス第 20 号 2025□■

10 月になりました。今月から、最低賃金の順次引き上げや改正育児介護・休業法に基づく措置の拡充、後期高齢者医療制度の配慮措置の終了等社会福祉分野でも大きな動きがあります。関心をもって知識のアップデートをしていきましょう。

国家試験の申込受付期間が今日で終了となります。提出書類が手元にある方は、本日の消印が確実に押される、夜間でも受け付けている郵便局の窓口へ急ぎましょう。

37 期の皆さんには、評価が済んだ 1 学期レポートを月曜日に第 4 種郵便で発送しました。到着を確認し、2 学期のレポート作成に生かしてください。

Plus Quiz は「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」から「ミクロ・メゾ・マクロシステム」についての事例問題です。それぞれのシステムの関係性も考えてみましょう。

■Plus Quiz ・ ・ ・ ・ ・

【37 回問題 113】事例を読んで、A 市社会福祉協議会がソーシャルワーク実践の対象としたシステムとして、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

〔事 例〕

A 市社会福祉協議会では、市内の視覚障害者から、行政機関が発信する生活や災害に関する情報が十分に届いていないため困っているという相談が相次いだ。こうした中、A 市社会福祉協議会は行政機関と視覚障害者をつなぐ情報伝達経路が不十分であり、その改善が必要であることを A 市に要望した。それを受け、A 市は視覚障害者への情報提供支援として、点字や音声による情報提供や広報を開始し、情報が広く行き届くようになった。

1. ミクロシステムのみ
2. メゾシステムのみ
3. マクロシステムのみ
4. ミクロシステムとメゾシステム
5. ミクロシステムとマクロシステム

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info ・ ・ ・ ・ ・

- ・ (36 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・ (36-37 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

※本養成所受講認定基準を満たす支給希望者には、10 月末日付けで、支給申請書類一式を発送いたします。

お手元への到着は 11 月上旬頃の予定です。今しばらくお待ちください。

- ・ 受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info ・ ・ ・ ・ ・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・ 第 38 回国家試験の受験申込受付期間は、令和 7 年 10 月 3 日（金）まで（消印有効）です。←New

※『受験の手引』には、〔10 月 4 日（土）以降の消印のものは、受け付けできません〕と明記されています。ご注意ください。

- ・ 第 38 回国家試験は、令和 8 年 2 月 1 日（日）です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1589172&c=3246&d=99c7>

- ・第 38 回社会福祉士国家試験『受験の手引』請求窓口が開設されました。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1589173&c=3246&d=99c7>
- ・第 38 回社会福祉士国家試験の受験申込受付が始まりました。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1589174&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1589175&c=3246&d=99c7>

※申し込み受付期間は終了しています。

・本養成所では、受験対策講座の一環として「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」を web にて公開しています。

また、新たに保護観察官による「更生保護出張講座」を公開しました。

アクセスするための URL やパスワード等のお知らせは、養成所ニュースプラス第 6 号配信時に PDF データを添付しておりますので、確認のうえぜひ受講してください。

URL はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1589176&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1589177&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1589178&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座 14 回／あきらめない努力】

早めに受験勉強に切り替えている方から「こんなに勉強しているのに思ったほど得点が上がらない」「得点が上がらないとやる気も下がってしまう」という声を聞きます。一方、「過去問 3 年分を何回も繰り返すうちに、知識の回路が繋がり突然アウトプットできるようになった」と話す先輩達もいます。

人間の記憶には「相互作用」があると言われます。A という知識を覚えた際、「A の知識」と同時に「A の理解の仕方」の二つの情報が得られるのだそうです。その後、新たに B を覚えようとしたときには、先に覚えた A の「理解の仕方」が B の理解を補助して、より容易に B を習得できるようになると言います。更に、それだけでなく後から覚えた B の「理解の仕方」が先に覚えた A の理解をさらに深めてくれるようになるそうです。ふたつの事項を覚えると 4 つの情報が生まれる、知識が 2 の 2 乗になるということです。「回路が繋がる」とときには、脳はこのような動いているのかもしれません。

勉強量と成績の関係は、「べき乗の効果」があるそうです。同じ勉強量を継続した時、成績は勉強量に対して 2 の x 乗になっていくというものです。この公式に当てはめると、勉強量を 1 としたとき、成績は 2 の 1 乗になります。勉強量が 6 倍になれば、2 の 6 乗の 64、10 倍になれば 2 の 10 乗 1,024 もの成績になります。忍耐強く辛抱しながら勉強を続けていくことで、霧が晴れる日が来ます。やる気が起こらないときも、前号でも紹介したモチベーションを維持できるように工夫をして、なんとか乗り切りたいものです。

次回は、知識のインプットとアウトプットについてお伝えします。

*今回は、池谷裕二著「受験脳の作り方」（新潮文庫）から引用しました。

【Plus Quiz 正答と解説】

前回、前々回に続き、今回の問題も問題文や選択肢の情報を理解・解釈し、その結果を踏まえて回答する問題形式です。知識を想起して事例を読み込み、実践の対象としたシステムを判断していきます。

共通科目テキスト 11 第 7 章では、日本ソーシャルワーク教育学校連盟のガイドラインからミクロ・メゾ・マクロの実践レベルが紹介されています。ミクロは「困難な状況に直面する個人や家族への直接的援助」、メゾは「家族ほど緊密でないが、グループや学校、職場、近隣など有意義な対人関係があるレベルで、クライアントに直接影響するシステムの変容を目指す介入」、マクロは「対面での直接サービス提供ではなく、社会問題に対応するための社会計画や地域組織化など、社会全体の変革や向上を指向しているもの」と示されています。マクロは、地域社会や国家、国際システムであり「政策や制度を含む」ともあります。

ミクロ・メゾ・マクロレベルの意味や対象を単に覚えるだけでなく、それぞれのレベルがどのように連動しているのか、そして、ソーシャルワーク専門職がジェネラリストの視点でどのように介入しているのか、支援の実際から理解することが求められています。

1～4 は×、5 が○

A 市社会福祉協議会は、市内の視覚障害者（ミクロシステム）からの苦情相談に対応したうえで、A 市（マクロシステム）へ情報提供支援の改善を要望した結果、A 市も情報が広く行き届くような情報提供支援を行うことになりました。A 市社会福祉協議会の改善要望はメゾレベルの「クライアントに直接影響するシステムの変容を目指す介入」とは言えず、マクロレベルの「社会全体の変革や向上を指向しているもの」と読み込むのが適当と言えます。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus